

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）3

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43774

愛知外相訪米

特

(44.6.3.5)

会誌

記憶

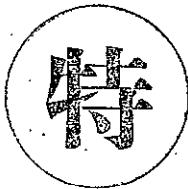
①

口答上回務表

・ 監
・ 次
・ 宣

才一欠

(六三)



電信写

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

りつつある。

(ロ) 日本は憲法上の制約にもかかわらず自主防衛強化に大きな努力を払っており、年率 / 4% という世界にまれな防衛予算ののびの結果 / 972 年までに見るべき成果を挙げ、同年以後の 5 年間には現在の計画の 2 倍またはそれ以上の金額を支出し非常に強力な備えをもつこととなる。

(ここでロ長官より 3 次防等につき簡単な質問あり)。

(ハ) 自主防衛によつても足らざるところは日米安保条約で補い、これによりアジアの安定に寄与すると共に日本も平和と自由をきょう受し得て来た。同条約は日本の外交政策の中核であり、国民の大多数はこれを支持しているが、一部の無知な分子による反対に対しては本大臣自らけい発に最大の重点をおいて当り成果を挙げつつある。

(ニ) 日本の世論はマスコミではなく選挙にこそ正確に反映いされるが、かりに将来総選挙が行われれば日米信頼関係による国運向上と対アジアこうけんの政策が今まで以上に信頼されることと確信する。

(ホ) 韓国との関係、特に同国政府の強化は国交正常化以来日本政府の最重点政策の一つで、見るべき成果を挙げ韓国も実力を備え安定と自信を見せつつある。問題は北鮮の無知やさにあり、先般の正ロ / 2 / 機撃ついのぼう拳によるぎせい者に対し国会で申述べたと同様あらためてちよう意を表す。

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

(一) 中国については、9全大会後も中共の外交し勢は急変しないと思う。日本は中共とささやかなDE FACTOの関係をもちつつ、中華民国との正規の外交関係を出来る限りそん重して来ている。タイワンは1300万の住民とかなりの土地をようし日本に次ぐ高い経済成長率をもつて独自の国造りを行なっており、この事実は十分育て上げて行くべきである。また、アジアの安全保障上もタイワンは相当な重要性を持つと考えている。

(2) オキナワ返かん問題

(イ) 日米間の最大の問題として大統領にも申上げたが、すでに4半世きを待て日本国民全体の気持は復帰がこれ以上せん延することには到いていたえ得ないので、1972年には返かんしてもらわなくてはならず、11月の総理訪米の際はつきりした結論を出さなくてはならない情勢である。

(ロ) 特に明らかにしたいことは、日本自身の安全及びアジアの安定のため返かん後も在オキナワ基地は米国に使用してもらおうという立場をわれわれがとつていことである。世上聞々復帰即基地撤去という誤つた印象をいなく者がいるようだが、日本としては極東の安定のため米国のプレゼンスを必要とし、今後益々その重要性が増えると考えている。

(ハ) 返かん後オキナワげん民と本土の日本国民とは同じ

特

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

立場におかれるべく、安保条約及び関連取極より成る体系（これは日米そう方のえいちと努力により非常に出来のよいものである）はそのままオキナワに適用されるのは当然であり、また、かくすればオキナワけん民も本土との差別感をいだかなくなる。

(ニ) 安保条約の目的を真にかん徹し米軍の戦闘作戦行動を不当に制限することがないようにするフオ＝ミユラにつき本大臣も1-2の法律的・技術的な方法に関する考えを持っている。日米の理解により必ず適当な手段を発見し得ると確信するが、今後精力的にそう方で検討を続け、ワシントンと東京で大臣・大使及び事務当局同志のすべてのレベルでつめて行きたいと思う。かかる考えは総理と本大臣とは完全に一致しており、総理訪米の下話しとして今後相談に乗っていただきたい。

(ホ) 核兵器についてはゆい一のひ爆国としての特殊な国民感情に根ざす「核アレルギー」の強さを米側として心に留め、非核3原則が返かん後のオキナワに適用されるべきことにつき十分考えをいたされたい。

(ハ) 日米安保条約については明年以降自然に継続されることが最良の選択と考えるが、その同じ考え方により、オキナワ返かんの際条約または関連取極めの内容に変更を来し、国会の承認を要する如き特別取極めは不適當であり、これは重大なポイントである。変更自体は小さなものでも

極秘

特

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

越えねばならぬ障がいはいは余りに大きく、不得策は明らかだからである。(口長官より安保条約の期限につき質問あり、ジョンソン次官より説明)

2. 以上に対し、口長官は極めて明かいな御説明を多とすると共に、往電第1697号のニューヨーク・タイムズ記事は事実に反し大統領は何ら決定していないと前置の上、次の如く述べた。

(1) 日米関係の基本政策については何ら問題はなく米国民は全部これを支持し、また、日本の復たう発展ぶりをほとりに思っている。米國は対日友好関係を極めて大初なものとして強く感じている。ニクソン大統領は度々の訪日を通じ、今後將來益々日本と協力する氣持が強く、また、日本を極東の安全保障のかぎと見ている。

(2) 米國は対外コミットメントをより少くすることをほつしているが、日本もより多くの責任分担を求めていると思う。かくの如く広い原則では兩國とも一致しているので、貴大臣訪米中出来る限りWORLD OUTして行きたいと思う。

(3) 日本と同様米國にも世論と議会関係に問題があり、特にオキナワに関連して防衛支出の点で、米國に比し日本の防衛費の比率の低いこと(自分らにはその事情は判るが)を世論が問題としているのは、最近のサイモン上院議員の発言(往電第1689号の2。(4)参照)などに反見いされている。

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

(4) このほかにも米国としては極東の友好国たる韓国・タイワン・南越等に対するコミットメントの問題がある。これら諸国は米国が突如極東から手を引くことを極度にしんじられており。これは特にオキナワ問題と関連している。自分も今回バンコックで韓国外相と長時間話し合ってきた。

(5) 総理訪米の前の話し合いでこれらの点に留意されたい。また、米国としては西太平洋における核の力を高く評価していることもあわせて申し上げたい。日米そう方に種々問題があるが決して解決不可能ではなく、日米ともに完全に満足が行かなくとも、友人同志として互譲・妥協の上に立つてまとめられると確信する。

(以上をもつて会談を終り、ちゆう食に移行した。)

(3)

-6-

特

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

西太平洋
配給班
に
限定

電信写

大政事外外管
務務房
次官官審審長
官官文会管給
総人電厚計

総番号 (TA) 2384 / 米 周 主管
69年6月3日 22時 05分 本 省 発着 米 敏
69年6月4日 11時 13分

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

大臣・國務長官会談

第1713号 特秘 大至急

オウカワラ参事官へ。トウゴウより。

往電第1712号に関し

冒頭往電会談終了直前「ロ」長官より西太平洋における核のSTORAGEの意義に関する簡単な調書を大臣に手交した。委細帰朝の上連絡すべきにつき本電取扱いには出発前打合せの如く嚴重に留意ありたい。

参調析
参領旅移

参北東盛
中西盛
参北北保
参一
参西京洋
西京

参参近ア
次総経国万

参置議國
参政法二
國一埋

参参總規

参政經洋

参社專
参道内外

一二

外務省

6月30日 参院. 057-2-2 (1) 合議 1階
057-2-27 参院 057-2-27 参院 057-2-27 参院
(6月10日 NBC 参院 057-2-27)

MR. NORMAN: The Japanese Foreign Minister will be here next week and he will be asking for the return of Okinawa. How do you feel about the return of Okinawa to the Japanese?

SENATOR SYMINGTON: I wouldn't oppose it, but on the other hand I think if they want it back, and want to specify what we should or should not have on that island, as apparently they are doing, that they better start spending some of their own money for the national defense of their country instead of letting us underwrite that, and at the same time flooding this country with so much merchandise because of their lower standard of living.

MR. NORMAN: You feel they are getting a free ride then, in the defense of their own country and their own area?

SENATOR SYMINGTON: Well, please don't ask me to go any further than I just did.

才一攻后中食

フレッドフルーツ 奇監役物の活あり、大臣の好意あり。
折入で112との活あり、ついで日米懸案、特に米の懸案、
(の)

支那價格奇の活ありと存つた。

米則は日米貿易の imbalance を向上せし、大臣より、

日米貿易の構造変化を主とし、アムステルダム、海州奇の
米Dの投資を主とし、生産物奇の日本への輸入の増加
(を主)

これより主として、線合の考えを主としてありとせし、
米則は主として、直接均等化の必要ありとせし。

Dに主として人口の増加を主とし、日本の増加率奇の主
傾向は、世界の人口の増加、Dに主として人口の増加
(を主)

パキスタンの事則奇を上げられ、中央の増加率奇の活あり
と存つた。

この間日本の行政問題も上げられ、Dに主として海軍以下
各大臣特に外務大臣の如きは(日)と取らるる奇の

活あり、当初Dに主として Congress との(英)語の活ありと
いふこと(主)は(日)の活ありと決りあり、Dに主として(日)と

日本の方針は20'に大要ありとせしと存つた。

日本の各政庁の勢力関係、今後つらぬきとせしと存つた。

社会党の退潮 (Dに主として各地方の中立傾向を主とし)

各社は主として果して延びる奇の活あり、

(延びる可能性のあるは寧ろ台明党の月老の跡不明
のため同党の勢力増大は主として要す)

~~延びる可能性のあるは寧ろ台明党の月老の跡不明~~

~~のため同党の勢力増大は主として要す~~

口際外務面では口際一スリ発程の大統領の「トナリ和年
之の日本」の行方及帰にツキ返(6)あり、大臣より返答は

和年の世に「と」の意に 慶賀して「ト」のコメントあり、口際一ス
は 和年の更通しに「ト」は果して「と」の「と」を慶賀して「と」。

口際一スリ 「トナリ」号戦口合議の際、韓口外相の
「中絶(12) (12) (12) security の内閣に「ト」自合に「と」

「と」下で「と」と(「ト」) 大臣のコメントを「と」、大臣より
韓口外相に「と」し「と」を「と」と「と」あり、韓口外相は「と」
(「と」) (「と」)

「と」に「と」の「と」は「と」で「と」に「と」を「と」の「と」
あり「と」(「と」) 書(「と」)は「と」に「と」(「と」)に「と」。

と「と」中絶内題の「と」合「と」用「と」は「と」他「と」内題の「と」

中二次 (六回)

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

2. アジア情勢

(1) (朝鮮半島) 大臣より「ロ」長官の求^のにより、アジアの緊張に関する見解、半島での危機発生の可能性は認めるが、その度合及び緊迫性につき多少日米間で見方が異なるようだと述べた。ジョンソン次官は1950年の如き大規模侵入が起きないのは在韓米軍の存在及びオキナワ基地の抑止力にあり、抑止力が低下したとの誤解をピョンヤンに与えることの危険性を指摘、グリーン次官補より最大の問題は韓国側の心理で、北鮮は50/2/機事件の如きちよう発行為により日米韓の離間をねらつて来るおそれあり。短期的には最大のき^よういは中共でなく冒険主義的かつ韓国^ののやく進をねたむ北鮮であると述べた。「ロ」長官も韓国要人がこそつてひ観的なことを自分に言う^と指摘。(本使から事態は50年当時よりはるかに改善されていると思ふ旨くり返しておいた。)

(2) (中共の核能力) 「ロ」長官の質問に対し大臣より大たんな私見としては中共^は内政の困難もありまだ10年位は現実的き^よういとなる核戦力は無理ではないかと述べたところ、長官は米側の得た情報では、中共の開発はより早く長きよ離ミサイルは1973-74年ごろでき上ると見ている。またソ連ではそれよりもさらに早く完成すると考

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

えているようだと述べた。

(3) (基本的事実認識)

グ次官補より / 0 年以上にわたる日米の極めて密接な協議により B A S I O な情勢判断は同じといつてもよく、これを反えいして米国が事に当つて取るべき行動に日本が賛成することが多かろうと述べた。

3. オキナワ問題

(1) (米側の 2 大問題点) 口長官より、米政府としては (イ) 極東、特に韓国、台湾のほか S E A T O 地域の安全保障についての C R E D I B I L I T Y 保持、即ちピョニヤン等に誤解をさせぬこと及び (ロ) 議会、世論の懸念、即ち事前協議は日本の V E T O であり、在オキナワ米軍は日本防衛専門とされてしまひ、極東各地の自国軍支援が不可能となるのではないかとのさし疑心が強いことが最も問題であると述べた。

(2) (安保条約と事前協議) 大臣より日本政府はオキナワの軍事的な重要性は十分認識し返かん後も基地の役割が交隣なく果せるようなアレンジメントを米側とともに見出したいと思う。復帰後あらゆる法律条約がオキナワに適用されるのは当然だが、安保条約による事前協議は V E T O も N O もいづれもあり得る。安保条約を自動継続すれば国会にかげなくてもよいが、オキナワ返かんに当つて特別取極

特

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

極 秘

を作れば国会にかけざるを得ず、これは求めてそう動を起すものでけん明でない」と述べた。ジョンソン次官は米側も安保条約の改訂を求めず、またオキナワ返かんの際のアレンジメントは同条約のわく内であるべきことに異存がない。事前協議については、大臣より、日本が主権国家である以上YDSともROともいえる形でなくてはならないと述べ、ジョンソン次官はどんなアレンジメントでもそう方の政権交替にかかわらず長期間続き得るものであり、かつ完全な相互信頼に基いたものであるべきことを強調した。

(3) (核問題) 大臣より核については大統領にも、また昨日貴長官にも申上げたとおりでであると述べたが、ジョンソン次官は、核はいつでも使えるという態勢にあつてこそ抑止力を著きし、使えないということがはつきりすればかえつて戦争が防止出来なくなると指摘し、米側としてはこの点MUCH CONCERN AND STRONG RESERVATIONを保持していると述べた。

(4) (今後の進め方) 「ロ」長官より総理が訪米される11月まで時間も少いのでそう方とも気合を入れて解決に向つて前進しよう」と述べ、大臣より明5日の中食会及び第3次会談で今後の作業の進め方を打合せたいと述べてオキナワ問題の討議を終えた。

4. プレス対策

特

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

「ロ」長官より本日の会議は大成功であり、今後そう方の満足する解決に希望をもたせたが明日記者会見があるのでその旨強調したいと述べ、大臣からプレスへは「今までの建設的なディスカッションの結果共通目的に向って話し合いを進めることとなつた。これからの段階は極めて困難と予想されるがそう方でちえを出し合つて努力して行きたい」と言うこととしたいと述べ、先方も同意した。

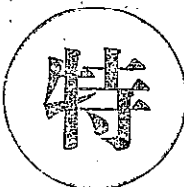
(7)

— 5 —

極秘

會
總
記
錄
②
大
錄
館
地
圖
像
)

② 和 忍 心 之
64



注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

大臣
毒外
加

極め
カ
ヒ
カ
ヒ

電信写

大政事外外官
務務 房
次次
巨官官審審長
議審文会審給
総入爲展計

総番号(TA) 24216
69年 6月 5日 21時 02分
69年 6月 6日 12時 14分

米本

主管
米省 務省 米局長

外務大臣 閣下 田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣訪米 (國務次官午さん会)

第1744号 特秘 大至急

5日ジョンソン次官主催午さん(出席者、アイチ大臣、シモダ大使、米局長、マイヤー大使、ブラウン次官補代理)の際の話し合は大臣が同日午後ロジャース長官との会談において要約された通りであるが、内容とりまとめ以下の通り

1. オキナワ返かんに伴う財政問題

米側一米政府としては返かんに伴い国際収支上のLOSSはないとの立場をとつておく必要あり、この点に関し//月総理訪米の時までに原則について合意に達しコミニケに書くか否かは別とし、米国内においてこれを公にし得る必要あり。

わが方一今日までFINANCIALの分野のDATAを全く持っていない。DATAなしに原則だけ決めるといふことは出来ない。本件取進めのためには先ずDATAを出してもらふ必要あり。回収した流通ドルをそのまま米國に渡せとか、施政権者として支出した行政費を返せとか

参調祈
参領旅移

北東經
中西
北北保
参一二
参西東洋
西東

近ア長經
参審近ア
次総經國万
参實統國
参政技二
國一理
参衆協別
参政經科
軍化寄
参道内外
一二

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

言うことでは通らない。先ず事実関係を明らかにした上どう扱うかを考えるべきである。

米側一なるべく早くDATAを提出し専門的検討を進めることとし度し。

2. 防衛問題

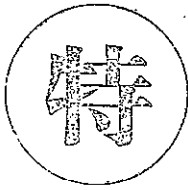
米側一返かん後は日本がオキナワのLOCAL DEFENSE面は本土と同様に引受けるということを米国内に説明出来なければならぬ。

わが方一オキナワの米軍の主たる機能は攻撃力を含む抑止力であり、LOCAL DEFENSEはそのかげにかくれてはいるが、わが方はLOCAL DEFENSE面を引受けするのは当然であり、防衛庁においても具体的に検討してゐる。然しながら、わが方の計画を実施するについては、米軍当局と十分協議する要あり。この意味で米軍と自衛隊との直接の協議検討を進める要あり。

米側一その見地よりはPENTAGONまたはGINCPACより責任者を派遣して当らしめる要あるべし。本件の進め方はなかなか難しいが、具体的方途をたん求すべし。

3. 基地の態様

米側一昨日受領した案は極めて有益であつた。コミュニケに記載する考え方はいい方法であると思う。あの様な書き物と、その解釈は、関する非公表の文書と言うようなこと



電信写

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

でこの問題は解決出来るのではないかと思う。
わが方一非公表の文書というものが要らぬようなコミュニケを作り得ることが最も望ましい。
米側一米側も総て公表し得ることを最善とするは時すまでもない。
わが方一核兵器の問題は極めて困難である。
米側一米側にとつても極めて重大な問題であり、これが最後まで問題となるべし。
わが方一総理が国会で返かん後はオキナワにB-52は置かせないと言う趣旨の発言を国会でしておられるような事情もあり、地域的の問題がある。何れにせよ事前協議の建前をくずすことは出来ない。
米側一米国内も納得させ日本側ものみ得るものに合意するということはよく分っている。
わが方一今後の進め方としては、昨日の案に対し米側がこれならよいというものをマイヤー大使をしてわが方に提示せしめるといことが適當ではないか。
米側一御もつともであるから左様考えることとすべし。

(3)

沖三次 (6.5)

大
級
組
下
二

(Prepared for 日米協定交渉委員会)

米係大臣 兼

極 秘
まで
部の内
号

大規模発言要旨

船 千孝

(7.7)

○ 日米両国は太平洋地域の安定の取極力
努力す。 ~~協定~~

○ 1967年のA-42. P72P25-12の英文の文
に等と243。

○ 長期の安定の問題は 経済、政治の両方面
要素が存在するに留意す。

○ 早期に交渉を日本が国領の許す限度で
通常 (CONVENTIONAL) の形に協力すこと

正期待す。

(当方所感) ① 沖縄問題は太平洋地域の
問題の一端として認識し211223た。

(75-22正期待 WILKINS)

② 太平洋地域の GUARANTOR は米国のため、日本は協力



電信写

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

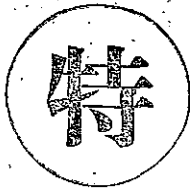
極秘

り、この気持ちを総理にお伝え願いたい。

大臣：自分は現内閣としては日米の相互信頼、外交面のみならず、国内のあらゆる面において相互信頼の基礎の上に立つて日米安保条約のわく内で両国間の問題を解決していく方針である。日本の一部には安保体制に反対のものもいるが、大多数は右が日本の為になつていているということ、過去20数年間の目覚ましい発展が日米安保体制故にかけられたものであることを確信している。日本政府としてはオキナワ返かんについては、1972年までにぜひとも実現してもらいたい考えである。明日からロジャース國務長官とこの問題について話し合を開始する予定であるが、大統領もこのことを十分考慮していただきたい。

昨年中は12月に外相になつてから当時のジョンソン大使に相互信頼が最も重要であるから極めてそつ直に意見を述べて来ている。ただ今大統領がふれられた輸入・資本の自由化については、米國に比べ日本は国内産業が立ちおくれしており、米側の期待する速度では自由化が進んでいないことにつき、フラストレーションをおもちかもしれぬが、自由化の促進については出来るだけ努力していくつもりである。その際自由貿易の原理の下にこれらを行なう積りである。

大統領：マイヤー大使は自分の旧友であり、自分はかれを



注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

非常に信頼している。かれは有能な職業外交官であり、太平洋地域の重要性につき自分と同じ意見をもっている。かつて自分はフォーレン・アフェアーズに広い視野に立つた場合、今世き最後の3分の1世きにおいて太平洋が中立的な地位を占めることになる旨論じたことがある。ベトナム問題はいずれは解決するペリフェレルなものである。この意味において日本がこの地域の安全について協力することが重要であり、自分はかねがね日本がこの地域における主要工業国としてこの地域のとうきゆう的安全のため指導的役割を果たすことを期待している。

大臣：日米両国が中心になつてアジア太平洋地域において協力することが望ましいことは同感であり、来る8月カンブでA S P A O会議を開くのも、かかる地域協力を促進するためのものである。しかしながら御承知の通り日本はユニークな憲法を有し、このため海外派兵は許されない。核兵器については獨特の国民感情を有しており、この点も十分考慮していただきたい。今後日米安保条約のわく内でオキナワ等の問題を解決して行く所存であるが、その際防衛問題についても米側に心配をかけないように処理して行く所存である。これにより政治的、精神的にも日本国内に米國と協調して行く体制を作つて行きたい。

大統領：御承知の通り米國は現在韓國、台湾、比、ベトナム等の地域に対し安全保障上の責任を有しており、米がと



電信写

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

の地域より撤退することは日本にとつても利益にならないと考え、またシンガポール、マレーシア、インドネシアといった地域の安全の問題も日本に影響を及ぼすであろうし、この意味において日本が今後益々大きな役割を果たしてもらいたいとの希望を有している。

大臣：広い意味での安全保障の観点よりすれば、米のプレゼンスは必要であり、要は米軍が有効にとどまれるような環境をじょう成することにある。

大統領：広い意味での安全保障には経済的、政治的の問題と共に、軍事的の要素もあることをわすれることは出来ない。//月に総理と一しよに来られるであろうが、その時にもまたお目にかかることを期待するが、ロジャースとの会談において、オキナワ、貿易、投資等の問題につき十分話合われることを期待する。ちよう上会談とばかりいわずにその前に種々のレベルで、例えば7月の日米合同委とか貴大臣と駐日大使の間、シモダ大使と國務長官の間等で話し合いを続け、問題をつめて行きたい。先にハード・バーゲンといったが、双方でこれを行なわないと結果はもろいコントラクトになるので、日米関係を律するコントラクトは厳しい交渉により作り上げて行くことが望ましい。

大統領：（新聞に対する説明ぶりとして）

オキナワ、貿易、投資を含むいくつかの重要な二国間問

— 4 —



電信字

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

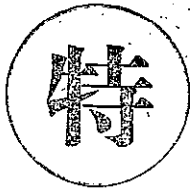
極秘

題及び太平洋地域の一般的問題につき討議し、この会談は極めて建設的なものであり、大統領と外務大臣は夫々の立場を述べ、今後引続き國務長官と外務大臣の間で会談を行ない、11月サトウ總理訪米の際の素地が作られることが期待される旨説明することとしたい。

大臣：ミッドウェイ会談への出発を明日にひかえ、御多ばり中のところ重要な時間をさいていただき感謝する。

(3)

— 5 —



電信写

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

面においても太平洋地域において米国のみがGUARANTEEであるということだけでなく日本と協力し得ることを期待していることをうかがわしめた。

(3)

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

電信写

総番号 (T A) 2302 / 主管
 69年 6月 2日 17時 15分 米 國 務 省 参 照
 69年 6月 3日 06時 4分 本 省 参 照

外務大臣殿 下町 大使 臨時代理大使 総領事 代理

大臣。ニクソン大統領会談 (大臣所感)

第1684号 特秘 大至急

往電第1683号に関し

アイチ大臣より

2日ニクソン大統領との会談に際し、本大臣の得た印象次の通りにつき、サトウ総理に直接お伝え願いたい。

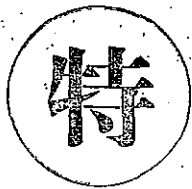
1. ニクソン大統領は、フロリダにおける休養のあとはつらつとして、本大臣をあたたく迎えた。会談は極めてなごやかなふん函気の中に進められ、最もそつ直かつ建設的な意見交かんが行なわれた。

2. 同大統領はオキナワ問題をじゆく知しており、各問題点を十分自分の頭の中でそしやくしているように認められた。同大統領は、日本及びアジアを極めて重要視していること、及び歴代大統領のうち自分ほど日本の事情に精通している者はない旨強調したが、これからはもうかがわれる通り、日米関係及びオキナワ問題に関する同大統領の認識は、事務当局からのブリーフィングだけに基ずくものではなく、自からの経験と知識とによるものがあると認められる。

大政審外信
 務務 房
 次次
 臣官官審審長
 儀書文会普給
 総人電厚計
 国資長領移
 参調析
 参領旅移

ア 参北東経
 参西経
 参北水保
 参一二
 参西東洋
 参西京

近ア長経
 参参近ア
 次経経国万
 参参統国
 参参政技二
 参参国一選
 参参条協機
 参参政経科
 参参軍社専
 参参道内外



電信写

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

3. 大統領は、太平洋地域の安全とあう問題に日米両国が相協力して対処して行かうという積極的気構えをひれきし。オキナワ問題を含む日米関係も、太平洋地域全体の問題の一かんとしとらえている。従つて、オキナワの基地の態様に関する大統領の見解も大統領自身の意見としてかなり厳しいものであると思われ、オキナワ交渉の前途容易ならずと思われるが、他方これから双方互 A R D B A R G A I N N I N G を行なつてこそそれぞれの国民の支持も得られる解決に到達することが出来ると述べ、//月の総理訪米まで米國政府としても出来る限りの努力を行なうべき態度を示していた。

(3)

国防長官(六五)

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ソビエト 極秘

外務省
秘書官
次官
官審長
文書会
人館厚計

総番号(TA) 24203
 69年 6月 5日 21時 30分
 69年 6月 6日 10時 15分

米 国
本 省

主 管
発 着
米 長

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

大臣・国防長官会談

第1735号 特秘 大至急

アイチ大臣は5日15:10より16:00までレアー
 長官と会談したが要旨次のとおり。「レ」長官は事前に資
 料を読んでおり極めて率直な質問を次々に発し大臣の応答
 と相まじりゆう実した対話であつた。(先方ナッター次官
 補、ドワーリン次官補代理、ウィックル通訳官ほか係官。
 当方は本使、タナカ大使、アメリカ局長、アカタニ審議官
 。北米第1課長同席)

1。(オキナワ問題) 長官より話し合いは順調に進んでい
 ると聞いているがと前置の上、米国の極東における責任は
 第2次大戦後の空白の為強制(IMPOSE)されたもの
 であり、ヴェトナムはその最たるもので、この解決がニ
 クソン政権の最ゆう先課題であるが、米国民の多くは米
 国の極東へのかい入に心配(CONCERN)をいだき、日
 本が同地域の平和と安全により大きな役割をやがて果すこ
 とを期待している。オキナワ問題も右と深く関連している
 こと、及び国防の責任者としては所在米陸海空軍の安全に

参調析
参領旅移
参北東
参西東洋
参書近ア
次総経国万
参政経科
参道内外

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ついても心をくだかねばならないこと。いずれにせよ国防費はきよ額によることを日本側もオキナワ問題に関し常に心に止めておいてほしいと述べた。

大臣より日本政府はオキナワ米軍基地が極東の平和と安全への寄与をじゆう分に認め、オキナワ返かん後安保条約体系がそのまま適用されても米基地の機能がそこなわれることはないとの自信に立つて、アメリカ側と一しよに解決策を見出して行きたいと述べた。

2。(日本の防衛努力) 大臣より日本の自衛力増強(安保条約第3条)は着々進んでいるとして90億ドルに上る3次防及び4次防ではその2倍となると考えられることにつき説明し、防衛費の年々の伸び率が14%という世界有数のものであり、自衛隊は世界的にも指おりのものとなりつつあることを指摘(「レ」長官より日米防衛に占める比率につきしきりに質問)し、また安保条約により供与されている本土の陸海空基地の米国極東防衛に不可欠なることを強調した。

3。(核問題) 大臣よりわが国の特しよくたる核に対する国民感情を説明し、米国は基地を有効に使う上で不可欠な国民的支持協力を得るためにこの点高次元の政治的判断をするよう要望した。

4。(安保条約及び北方領土) 「レ」長官より、最近読ん

極秘

特

電信写

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

た資料では日本では安保条約がただ米国の利益の為のみあるとの見方が多く、また国会の議論がオキナワにかたより北方領土問題がほとんど取りあげられていないようだが、理解にくるしむと述べ、これに対し大臣より（イ）安保条約に対する国内少数派の反対ぶりが実態以上に伝えられているが、国民大多数は日米相互信頼関係を基本政策とする自民党を支持していることは過去20年間の選挙の結果がよく示している点注意をかん起し、また（ロ）北方領土につき政府は全力をつくしておりオキナワが返かんされれば日本の対ソ世論は益々強まろうと述べた。

5.（アサト負しよう事件）「レ」長官より昨日起きた本事件につきいかんの意を表し、目下えい意調査中なる旨述べ、大臣は右を謝すると共に、E O / 2 / 事件での米とう乗員の死ぼうにつき当時国会でちよう意を表した旨を述べた。

6.（中共の核ミサイル開発）「レ」長官より、中共の核ミサイル開発はE O B Ⅷ（やや遅れている）は別として急速に進んでいるが、日本ではほとんどのきよういが議論されていないのは不思議である。何かこれに触れないことに政党内の暗もくの合意でもあるのかとして教示を求めたので、大臣より、（イ）政府は非常に関心を持っているが、らく観的な見方では7倍の低生活水準の人口をかかえ、

特

電信写

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘

毛リン派路線も定着していない中共がかかる兵器を実戦配備するのはまだまだ先なるべきこと。(ロ)中共は日米離隔に努めているが、わが国はあくまで台湾との外交関係をけん持していること。(ハ)非核3原則には与野党一致しており、潜在核開発能力の^高い日本でも核開発は絶体にしな^いとの気持が強いこと。(ニ)中共の核兵器が日本に向けられることはないとの希望的観測が行き渡っていること。(ホ)ただし為政者はこの点を常にフォローしつつ、日本の防衛は通常兵力に頼り、足らざる面を米国の核抑止力に依存する政策をとっていることを説明した。

7。(オキナワ問題と極東での日本の役割)「レ」長官より、ニクソン大統領は日米友好関係の重要性をよく認識しているが、日米共に交渉上手なのでハード・バーゲニングとなろうと述べたのに対し、大臣よりロジャース國務長官とも話したが本件は極めて大事な交渉で対決調のバーゲニングでなく、共通の目的に向って双方が共に方法論をたん求することで行くべきである。例えばオキナワの局地防衛など正に然りと述べた。「レ」長官は共通の努力の方向が日本が極東の平和と安全により大きな責任をもつこととなるのを希望する。率直にいつて日本がそのようになってきたといえればきよ額の防衛予算を益々出ししよる議会から

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

防衛費を取り易くなるのだと述べ、大臣も要は双方が夫々国内に「売れる」方式を発見すべく高度の政治的判断を要するところである。なお日本は軍事上の協力はできないが対アジア援助の面で積極的意よくをもつて努力を開始しており、大きな業績が期待されると指摘した。

8. (その他) 長官より最近ブッセルとロンドンでNATO国防相の会議に出て、欧州では米国のコミットメントと核兵器をいかに引止めておくかに熱心であるのが印象的だつたが、日本と非常に対照的だと述べ、大臣もこれに同意し、米国の核がしつかりしていれば日本は核戦力を待つ必要はないと思うと述べ、会談を了した。

極秘

米大来電券1736号、原議

外 務 省

東京都千代田区霞が関二丁目2番1号
電話 東京 (3580) 3 3 1 1 番

郵便番号 100

財帛長子 (六五)

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 24214
 69年6月5日 22時45分 米 国 主 管
 69年6月6日 12時06分 本 省 発 着 米北1

外務大臣殿 下田 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

アイチ大臣とケネディ長官との会談

第1740号 極秘

5日午前11時よりアイチ大臣はケネディ財務長官と50分にわたり会談した。その模様次のとおり(同席者、当方本使、トウゴウ、ムライ、アカタニ、ナカジマ、先方ペテイ次官補、ハーシュトリット、ウイッケル等)

1. 経済協力問題

大臣：今回の訪米の主要課題はオキナワ返かん問題についてニクソン大統領以下に日本の考えを伝えることである。大体において米側の理解を得たと思つているが最終的な処理は11月のサトウ総理訪米のときにならう。自分としては今回各方面から同情ある理解を得たと考える。

長官：予備的討議は極めて有意義である。総理訪米までに防衛問題、経済援助問題等検討しておくべき問題は多い。自分としては財政的な面について討議したいと思つている。

大臣：オキナワ問題には直接関連がないが、わが国のアジアに対する経済協力問題は1970年代においてさらに組

政事外外官
 参務
 次次 房
 臣官官審審長
 議文会管給
 人電厚計
 参調折
 参領旅移
 参北東
 参西
 参一
 参西京洋
 参西東
 参書遊ア
 参総経国万
 参領統
 参政枝二
 参国一連
 参米協規
 参政経
 参社専
 参道内外

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

織的かつ合理的に行うことが大切であると考えている。これによりわれわれはアジア諸地域の経済的安定を図つて参りたい。

長官：われわれはアジアについて防衛問題、経済、財政等の問題を多くかかえている。日本は戦後急速に復こうしてきたのでこれらにつき大きなこうげんができると思う。

大臣：経済協力についてはバイラテラルな面も重要であるが、多角的なベースでの経済協力も望ましい。この意味でアジア開発銀行の活動が極めて重要であると考えている。ADBのシドニー総会に先立つ東南アジア関係会議にワタナベ総裁にも出てもらったが、その際ADBの活動に対する各国の期待が実に大きいことを自分は身にしみて感じた。

長官：自分もシドニー会議でワタナベ総裁の有能でビジネスライクなやり方に強い感銘を受けた。米国もADB特別基金に対する1970年度の拠出法案を議会に提出したが、これが基金に対し大いに役立つものと期待している。基金に対する拠出については日本のリーダーシップを期待している。そしてわれわれは日本の方針に歩調を合せたいと考えており、米国の割合は小さくなったが、これは国際收支上の理由によるやむを得ない制約であることを御了承

- 2 -

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

願いたい。

大臣：米国の立場は理解できるが、経済協力をもつと効果的にするため米国政府のより積極的な役割りを期待したい。

経済援助問題は従来ややもすれば政治に左右されるきらいがあつたが、今後はより経済的、合理的に行なわれるべきものと考えている。自分はこの面において従来米国の采してきた役割りを高く評価したい。

2. 通商問題等

長官：スタンス長官の日本訪問に関する問題については議会における圧力がますます高まつている。これは自分にとつて困つた問題であるが、日米間の貿易バランスはファンクステイック・ファイニアーを示しており、われわれはこの問題を解決しなければならない。

大臣：自分はこの問題について昨日もスタンス長官と話したところであるが、日本は貿易及び資本の自由化について前向きに努力しており、グレープ、フルーツはじめ主要品目についての自由化時期の決定を7月に予定している。米側からみればもどかしいかもしれないが、この努力を理解していただきたい。また、この努力に逆行するような保護主義的な動きはやめてほしい。なお、日本は鉄こう、タイヤなど対米輸出の4分の1は自主規制下^下にあり、できる

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ことはすでにやつている次第である。
さらにわれわれは貿易バランスをパイラテラルなペースで
みるべきではないと考える。

例えば米国の東南アジア等に対する投資はここ数年いちじ
るしく増加したが、その結果これら地域から日本の輸入す
る物資は増加している。日米間の貿易だけを取上げるのは
おかしい。

長官：それは一つのよい見方である。われわれは議会の許
す範囲でできるだけのことをしたい。

大臣：われわれも同様の政治的な問題を国内にかかえてお
り。現にせん維問題については全会一致で自由規制反対の
決議を採択した。この問題についてはしばらくの却期間
をおく必要があると思う。

(終りに大臣より7月の合同閣僚会議はぜひ来日されたい
旨述べ、会談を終了した。)

(3)

-4-

特

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

ネスマンは投稿をするだろうし、これ以上の話し合いができなくなる。これはお互いの立場をきずつけることになる。 (わらいながら) また、議会において論議を起すことにもなる。

大臣； 日本の新聞も時に行き過ぎることがあるが、このような重要問題については、極めてしん重な配慮を要すると思う。

長官；とにかく何らかの合意に達したい。

大臣； / / 月の総理訪米までのスケジュールについてどのように考えておられるか。

長官；合同四僚会議までに (ざん定的) なタイム・テーブルを WORK OUT したい。なお、サトウ訪米後も多くの問題点が残されると思うが、これはそれまでに SOME AGREEMENT に達するべきことを除外するものではない。サトウ訪米までに、一般原則について合意に達したいと思う。

予算面及び国際収支面についての問題点を文書の形にした

ペディ； (長官の質問に答えて) ざん定スケジュールは、合同四僚会議までに準備できると思う。

長官；われわれはこの問題の検討を始めたばかりで詳細についてはまだ承知していない。

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大臣：7月の日米会談までには大づかみに双方で問題点を POINT OUTするのがよいと思う。

ムライ局長：われわれは本件のデータを全く持っていないので、まずこれを入手してから長官が提起された問題点を研究し討議したい。

長官：その通り。情報をお互いに交換し、その上で討議しよう。

本使：一般原則については、総理訪米までに合意することが必要と考えるが、また総理訪米の際の共同コミニケに本問題を盛りこむ必要があると考えるか。

長官：総理訪米までに主要問題点についての合意はぜひ必要である。政治的理由もあるので共同声明にこの問題を取り上げる必要はない。

ムライ：コミニケに入れる入れないにかかわらず、実体問題がある。たとえばB P上及び予算上の負担といつてもデータをみないと判らない。

長官：その通りである。この問題については今後検討を続けたい。

(新聞に対する先方の発言の次第もあり、大臣の御意向により、本件会談のどの部分は全くなかつたものとして取扱い。米側(国務省及び財務省)にもその旨通報しているので御如さいなきことながら念のため。)

商務印書館

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

外務省

事務次官
 官審長
 文会総

総番号 (TA) 23862
 69年6月3日 23時50分
 69年6月4日 14時01分

主管
 米 国 米北2
 本 省 務 着

外務大臣殿 下田 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

アイチ大臣とスタ^ン商務長官との会談

第1711号 極秘

3日アイチ大臣はスタンス商務長官と1時間余にわたり会談した。会談の様次は次の通り(出席者、先方ニ~~ニ~~マ~~ニ~~、アオックス両次官補代理、他。わが方、本使、トウゴウ局長、ヨシノ公使他)

(大臣より土産のえを提供し、あいさつを交わした後)

長官：自分は最近、貴大臣が東京の日米協会で行なわれた演説を説く機会をえたが貴大臣がいわれたことは正しく、日米間の友好関係に基づき、そつ直な討議の結果うまれうる進歩のよい例だと思つている。日本も貿易及び資本の自由化を今^後とも進めることが日本の国益と合ちするとのぐだりに私は全くよろこんでいる。

大臣：自分は昨日ニクソン大統領にも申上げたが日本は貿易及び資本の自由化という大きなプリンシプルに従つて行くべきだと思つている。米側よりみられればあるいはこの日本の自由化の速度は遅く、もどかしく感ぜられることが

外務省

人電厚計
 参調折
 参領旅移

参北東
 参北北保
 参一
 参西東洋

参書近ア
 次総経国万
 参領統
 参政技二
 国一理
 参条協規
 参政経科
 専社専
 参道内外
 一二

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

あることはよくわかる。しかし日本としてはせつかく自由化の計画を進めているのであるから、これをディスカレッツする如き措置を米側において措かれることは望ましくない。ニクソン大統領も言われた様に、日米間においてはHARD BARGAININGを通じてお互にそつ直に言うべきことは言うというところによい結論も出てくる。主張は主張としてお互に行ない、まとめるべき時にはまとめるという態度で判断し、また話合いを続ける用意を自分も持っているということを申し上げたい。

長官：自分が日本と話をする時の大前提は、日米両国は友人として話すのだということである。日米関係はかくも緊密になつたので、資本の問題は米国の問題でもある。われわれは今後とも日本の貿易及び資本の自由化をしようとする積りであり、自由世界の第二の工業国としての日本が米国のとつている自由貿易の政策にレシプロケートすることを望んでいる。この意味で最近のクライスラー・三びしの合併事業が成功することを望んでいる。米国の実業家達が心配している様だが、この計画はFORECLOSEされたものとは自分は思っていない。連日の如く自分のところへ米国の実業界が現われて日本の制限についてく情を述べているが、自分はこれらの人々に、日本の政府も業界も米国の政策にレシプロケートする用意があると了解してい

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

る旨述べている。もち論日米両国の如き民主主義社会においては、政府が何か政策目標を掲げてやろうとする時は國民を教育する過程の必要なことは自分も承知しているが、願わくば日本も自由化の計画をアクセレレートし、また投資の自由も50%といわず100%の資本参加を実現させてほしい。

最近アラスカで日本側会社51%の資本参加で日米間に合弁事業が成立したようであるがこれはアラスカの開発のために望ましい事であり、米側としては日本側100%でも構わないと思つている。

前にも述べたとおり自分としては日本国内のけい発上の問題点がある事は承知しているが、問題のかぎは日米兩國はともに大なる國民であるので日本としては最早米國の実業家及び米國産品による侵略をおそれる必要はないということ認識することである。

大臣：貴長官は私の日米協会における講演に言及されたがあれは自分の本当の気持ちを述べたものであり、自由化問題に関し日本の經濟人に訴えると共に米國実業家にも訴えんとしたものである。日米関係では日本はいわば米のおとうと分であり米國としても日本に対し余り性急な要求を出されることなくかん大な気持ちで見えていただきたい。

次にせん維の問題については先般貴長官訪日されたときは

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

貴長官も交渉のために来たのではなく、そつ直な意見の交換を行なうためといわれたので、自分もそつ直に自分の意見を申し上げたつもりである。しかし、貴長官が欧州及び極東諸国を訪問し、自らインフォメーションを集められたところから、今後この問題をどう処理するかその方法につき、貴長官が問題を提起される場合には協力の用意がある。

自動車を含む資本自由化の問題、残存輸入制限問題については、外務大臣としての自分の立場上、自由化の方向で貴国の注文にもみみを傾けたい。何れにしろ来月末には米側閣僚がそろって来日することでもあり、その際日本側カウンタパート大臣との間によい話ができるよう自分としても努力してみたい。

長官：自分は貴大臣の日米協会における演説は一部しか読んでいないが、同演説の中でせん維問題については触れられたか。

大臣：触れなかつた。

長官：自分は訪日後韓国、台湾、ホンコンと歴訪したが、ホンコンは完全に商業的考慮のみで外交的考慮を持っていないところであるので、ホンコンとの話合いは極めて難しく、彼等の態度はつめたく、もし米国がせん維製品について輸入規制するなら、せん維以外の物を作つて米に輸出するばかりであるという有様であつた。

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

韓国及び台湾は米国の立場に理解を示したが自分は特に問題をプレスすることなく何らかの解決策を検討してもらいたいと要請したのみである。せん維問題の中心は各国からの対米輸出ののび率が極めて大きいことであり、こののび率を50%とかいう率でなく、5%、8%ないし10%という米国産業のきゆうしゆうし得るようなのび率にしてもらいたいということである。

先般貴大臣は、あにき、おとうと分ということを言われたが良いとえだと思ふ。ところが現在ではそのあにき分が国際収支の困難をかかえており、また国内のインフレーション等と相まつてこれらの諸困難の責を前政権に帰している。

御承知の様に米国は昨年10億ドル近くのおか字を出したのに比し、日本は昨年は25億ドル、今年はおそらく35億ドルのくろ字を出すであろう。米国としては他人のことをかまつておられなく、自分自身のことを考えなくてはならぬ状態になつている。

そこへせん維問題である。自分は極東旅行から帰つた後ミルズ及びバーンズ議員と会つたが、ミルズ議員はせん維問題の解決にコミットしており、日本大使館員とも会つて話をしたと承知している。その他自分は下院のせん維委員会所属の80名の議員と話をした。その他労働の指導者とも

極秘

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

会つて自分の旅行の報告をした。また今後数週間内に50-60名の上院議員と会う予定をしている。私がこれらの会合において申していることは、米国政府が目下関係国とディスカッションを続けているのであるから、議会側において一方的な制限措置をとつてもらいたくないということである。

私は何らかの形における自主的協定を締結することをあきらめていない。米国の労働組合もこの問題に関心を示しており、大臣も今朝のワシントン・ポストの公開状を御らんになつたことと思う。もち論この公開状は私が頼んだものではない。

先般サトウ総理も述べていたように、日米両国の労働組合同士の話し合が望ましく、現に今週ジュネーブでのILO会議の機会に会合し、事実関係の理解を深めることになつていと承知している。

私は訪日後大統領に報告し2週間以内に自分のリコメンデーションを提示することになつていたが、大統領はすでにワシントンをはなれてしまつたので、自分も若干時間的余裕ができたわけである。自分は大統領に提出すべき勧告についてはまだ成案を得ていない。重要な点は米議会内にせん維問題解決の必要に関し強いFEELINGがあり、関係国による自発的解決が不可能ということになれば、議

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

会は30日以内に制限的立法を通すことは可能である。その他議員は問題を大衆に訴えることもあるであろうし、何れにしてもこの問題は消えてなくなるものではない。

米国の現在までの輸入統計はドックストライキ等のためどん化しているが、それでも前年比30%増となっており、年末までにその比率は更に高くなるであろう。先程もいわれたようにわれわれはハード・バーゲニングを通じて解決策を見出さなければならぬ。

大臣：この問題は日本国内でも極めてむづかしく、衆院本会議でもせん維輸入制限反対の決議をしている。ただ今の貴長官のお考えは、お考えとして承つておく。もし貴長官が新しいネゴシエーションのための方法論をお考えになるような場合はその考え方に協力することは可能と思う。ただし何れにしても、ハード・バーゲニングが必要であろう。

自分はロジャース長官にも申上げたが成程昨年/年では日本の出超であるが米国は長年にわたりアジア太平洋諸国に投資をしており、日本はたとえば豪州の米系企業から輸入しているというふうに、国際貿易の構造が変つていることも御考慮の上対策を考えていただきたい。何れ来月末の合同委員でディスカッションを続けるわけだが、他方あまりこの委員会に負担をかけ、期待を大きくしてもいけない。先

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

程から申上げているような日本の自由化問題及びただ今の国際貿易の構造変化の点をも考慮し、日米協力の上に立つて問題を一つ一つ解決して行くという考えで行きたい。

長官：今度の合同委の際には通常のセレモニーの他に十分な時間をかけて関係大臣と十分な話し合いをしたい。せん維問題については米側のねらい（OBJECTIVE）とするところは変わらず、6月は無理となつたので、9月にGATTで会合を持ちたい。そしてもしその前に日米間だけでBILATERALなディスカッションがあれば結構である。

大臣：何もGATTの会議ということに限定する必要はなかろう。方法論としてはそれ以外のものもあると思う。米側がGATT/9条を援用することはむづかしいことは知っているが、こういったものも含めて話を続けるという状態を作るのには協力する。

長官：自分は本問題に関する各省スタッフの作ったペーパーを見たが一ちした勧告として/9条は手続がハンサなため問題の解決にならないということ述べている。他のオルターナティブは、自分として未だ評価を加えていないが、7月/日から3カ月間せん維製品に関する関税譲許を撤回するという案がある。しかし自分としては何れの案が良いか貴大臣に申上げる用意はない。おそらく7月の会議ま

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

てには用意ができるであろう。

大臣：貴長官訪日の際、日米間においてNTBに関する資料交換、そしてもし必要ならマルティの場における討議という御提案は日本側もアクセプトしたことである。従つてせん維に関しては、日本としては近くの韓国、台湾更には英国、イタリー等の立場も考えねばならず、むしろNTBに関する資料交換等の話を進めこれを利用して行くことを考えては如何か。

長官：御説のとおり。

せん維については、日本側でこの問題が米国内においてあらゆる勢力が支持しており、大統領の政治的コミットもあり、解決するまでは追求するという程重要な問題であるということを確認されるならば、日本側もこの問題を討議されることとなるであろう (WILL SIT DOWN AND DISCUSS THE PROBLEM)。

大臣：なかなかむづかしい問題である。1日、2日でこの問題を解決するわけには行かない。ただし自由化の問題についてはできるだけ前向きに取組んでゆきたい。

長官：貴大臣の最後の発言は全米国政府及び業界を代表して申上げるが、極めて建設的かつヘルプフルであると考えられる。今後ともわれわれはこの問題をディスカスして行きたい。

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

大臣：最後に、近く経団連のウヰムラ会長が当地を訪問するが、日米財界人の接触は極めて望ましいことであり、業界人同士が話し合いをすれば政治家や役人にならないようなチエを出すことがある。

長官：全く同感である。ウヰムラ会長がワシントンにお出での節は私もお会いしたいし、また私のところで米国の実業人を数名集めて、会合をアレンジしたいと思う。因みにそのグループにせん維代表は入っているか。

大臣：最近ニューヨーク総領事館からALARMINGな報告に接しているが米国の実業人は日本を本当のCOMPETITIONとして意識し始めているので、日本の業界も協調的精神をもつて対処していかなばならないと自分は話している。(3)